

令和6年4月22日

ダバ駐日エチオピア大使を迎えての公開セミナー 「Green Legacy Initiative of Ethiopia」を開催

鳥取大学では、ダバ・デベレ・フンデ駐日エチオピア連邦民主共和国特命全権大使を迎えて、エチオピアの持続可能な社会構築に向けた取り組みである「Green Legacy Initiative」を紹介する公開セミナーを下記のとおり開催します。

鳥取大学とエチオピアの一部大学は、長年にわたり研究と教育の協力関係を築いてきました。中でもバハルダール大学とは、2008年10月に学術交流協定を締結し、2017年から2023年には、JICAとJSTの支援によるSATREPSプロジェクト「砂漠化対処に向けた次世代型『持続可能な土地管理(SLM)』フレームワークの開発」を通じて社会実装に向けた連携の輪が広がりました。これまで、乾燥地科学や環境科学の分野を中心に、多くの研究プロジェクトが進められ、多くのエチオピア人教員や学生が鳥取大学で研究に取り組んでいます。

この度は、オロミア州農業・天然資源局長を務めた経験もあるダバ大使自身より、同イニシアティブの取り組みの意義や進捗が説明されるとともに、両国の学術コミュニティによる持続可能な発展と環境スチュワードシップの推進に向けた行動について考える場とします。

記

日 時： 4月25日(木)15:30~17:00

場 所： 広報センター2階スペースC（鳥取大学 湖山キャンパス）

講演者： His Excellency Ambassador Mr. Daba Debele Hunde
(特命全権大使：ダバ・デベレ・フンデ 閣下)

使用言語： 英語

【本件に関するお問合せ先】

鳥取大学国際乾燥地研究教育機構(大山)

E-mail: ipd-zim@ml.adm.tottori-u.ac.jp

*お問合せは事前にメールにてお願いいたします。

Green Legacy Initiative とは

森林保全、気候変動対策、持続的土地管理、生物多様性等に資するべく、地域社会を巻き込んで植樹を推進するエチオピアの国家プロジェクト。2019 年から始まり、8年間で数十億本の苗木を植えることを目指しています。



ダバ・デベレ・フンデ 氏 略歴(一部)



- 2023-現在 駐日エチオピア連邦民主共和国特命全権大使
- 2012-現在 アンボ大学理事長顧問
- 2022-2023 駐ルワンダエチオピア連邦民主共和国特命全権大使
- 2018-2021 オロミア州農業・天然資源局長
- 2016-2018 オロミア州副知事
- 2007-2008 ブラユ市長